

平成23年度補正予算（第3号）フレーム

(単位 億円)

財政需要		財源									
1	東日本大震災関係経費 117,335億円										
	(1) 災害救助等関係経費 941億円	1-1	復興債 115,500億円								
	(2) 災害廃棄物処理事業費 3,860億円										
	(3) 公共事業等の追加 14,734億円										
	① 災害復旧等事業費 8,706億円	1-2	税外収入 187億円								
	② 一般公共事業関係費 1,990億円										
	③ 施設費等 4,038億円	1-3	復興財源となる歳出削減 1,648億円								
	(4) 災害関連融資関係経費 6,716億円										
	(5) 地方交付税交付金 16,635億円										
	(6) 東日本大震災復興交付金 15,612億円										
	(7) 原子力災害復興関係経費 3,558億円										
	(8) 全国防災対策費 5,752億円										
	(9) その他の東日本大震災関係経費 24,631億円										
	<table border="0"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">立地補助金</td> <td style="padding-left: 5px;">5,000億円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">雇用関係（重点分野雇用創造事業の積み増し等）</td> <td style="padding-left: 5px;">3,780億円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">節電エコ補助金等</td> <td style="padding-left: 5px;">2,324億円</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">住宅エコポイント</td> <td style="padding-left: 5px;">1,446億円 等</td> </tr> </table>	立地補助金	5,000億円	雇用関係（重点分野雇用創造事業の積み増し等）	3,780億円	節電エコ補助金等	2,324億円	住宅エコポイント	1,446億円 等		
立地補助金	5,000億円										
雇用関係（重点分野雇用創造事業の積み増し等）	3,780億円										
節電エコ補助金等	2,324億円										
住宅エコポイント	1,446億円 等										
	(10) 年金臨時財源の補てん 24,897億円										
2	その他の経費 3,210億円										
	(1) 災害対策費 3,203億円	2-1	税外収入 867億円								
	(2) その他 7億円	2-2	東日本大震災復旧・復興予備費の減額 2,343億円								
3	B型肝炎関係経費 480億円	3	税外収入等 480億円								
	合計 121,025億円		合計 121,025億円								

(参考) 財政投融资計画

株式会社日本政策金融公庫等に対し、13,421億円を追加する。

(注1) 8月9日の3党幹事長確認書を踏まえ、復興基本方針において、「年金臨時財源2.5兆円を復興債で補てんするための償還財源について、復旧・復興事業の財源に加算した上で検討する」とされたところ。年金臨時財源の補てん以外の「東日本大震災関係経費」は、9兆2,438億円となる。

(注2) 為替市場のいかなる動向にも十分な余裕をもって機動的な対応を行うようにするため、特別会計予算総則において、外国為替資金特別会計の外国為替資金証券発行等限度額を、23年度当初予算における150兆円から165兆円へと引き上げる。

(注3) このほか、特別会計予算総則において、原子力損害賠償支援機構法に基づき、原子力損害賠償支援機構に資金拠出するための交付国債の発行限度額を2兆円から5兆円へと引き上げる。

(注4) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。